



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー  
 コード番号 4922 URL https://corp.kose.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 TEL 03-3273-1511  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	218,961	9.0	16,029	28.4	21,067	△6.6	13,148	△5.0
2022年12月期第3四半期	200,887	-	12,481	-	22,549	-	13,841	-

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 17,515百万円(△30.4%) 2022年12月期第3四半期 25,180百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年12月期第3四半期	230	45	-	-
2022年12月期第3四半期	242	61	-	-

(注) 2021年12月期第3四半期は、当社及び3月決算であった国内連結子会社は2021年4月1日から2021年12月31日まで、12月決算であった連結子会社は、2021年1月1日から2021年9月30日までを連結対象期間としています。そのため、2022年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	368,170	284,507	284,507	284,507	72.8	4,696.15
2022年12月期	359,600	275,349	275,349	275,349	72.0	4,539.45

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 267,950百万円 2022年12月期 258,992百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	70.00	-	70.00	140.00
2023年12月期	-	70.00	-	-	-
2023年12月期(予想)	-	-	-	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	5.5	21,000	△5.1	20,300	△28.5	13,300	△29.1	233.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期3Q	60,592,541株	2022年12月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	3,535,014株	2022年12月期	3,538,707株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期3Q	57,055,879株	2022年12月期3Q	57,052,096株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関連)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日まで)

セグメントの名称	前第3四半期累計		当第3四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	160,749	80.0	174,468	79.7	13,718	8.5
コスメタリー事業	38,833	19.3	42,881	19.6	4,048	10.4
その他	1,304	0.7	1,611	0.7	307	23.6
売上高計	200,887	100.0	218,961	100.0	18,074	9.0

区分	前第3四半期累計		当第3四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	12,481	6.2	16,029	7.3	3,548	28.4
経常利益	22,549	11.2	21,067	9.6	△1,482	△6.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13,841	6.9	13,148	6.0	△692	△5.0

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年9月30日まで)における日本経済は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進み、内需の押し上げ効果により、景気の緩やかな回復基調が続きました。飲食などのサービスを中心に個人消費が持ち直し、設備投資も増加傾向が続いています。また、円安を背景としたインバウンド需要が堅調に推移し、8月には中国政府による日本への団体旅行解禁に伴い、中国からの訪日客が増加傾向にあります。一方、消費者物価は、政府による物価高対策の延長により伸び率が鈍化するも、実質賃金の低迷の長期化により、個人消費の回復が遅れる可能性があります。さらに世界的な高金利・高インフレが続く、海外経済の減速による景気の下振れ懸念は残ります。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済においては、中国では景気回復の動きに足踏みがみられ、成長率は鈍化しました。製造業に持ち直しの動きはあるものの、不動産不況の深刻化や雇用情勢の悪化が個人消費回復の足かせとなってきました。政府は景気支援を強化し、第3四半期に入って個人消費が持ち直す一方、不動産市場の低迷は続いています。それ以外のアジア経済では、回復基調が続いています。米国においては、高止まりする市場金利やインフレ率による景気後退懸念が残るものの、個人消費は堅調に推移しています。

日本の化粧品市場においては、百貨店・専門店に加え、ドラッグストアなどのマス市場での化粧品売上も着実に回復しています。さらに、インバウンドの増加も、化粧品需要の回復を後押ししています。アジアの化粧品市場においては、中国では、福島原発処理水の海洋放出に対する批判が高まり、売上に影響を及ぼしています。それ以外のアジア各国については、一部地域では弱さがみられるものの、全体では回復基調にあります。米国の化粧品市場は、底堅い個人消費に支えられ、順調に成長しています。

このような市場環境の中、当社グループは中長期ビジョン「VISION2026」を推進しており、「世界で存在感のある企業への進化」を目指しています。当期は「PHASE II：世界での存在感拡大と更なる顧客体験の追求」の2年目に入り、基本戦略の下、グローバルな事業展開の促進、事業領域および顧客層の拡大、デジタルコミュニケーションの強化、成長を支える経営基盤の構築に取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、韓国および中国での売上が減少した一方、日本や、欧米を中心に展開する「タルト」が実績を牽引したことにより、売上高は前年同期比9.0%増の218,961百万円（為替の影響を除くと前年同期比6.4%増）となり、連結売上高に占める海外売上高の割合は37.0%となりました。

利益については、原価および販管費の増加以上に増収した結果、営業利益は16,029百万円（前年同期比28.4%増）となりました。しかしながら、為替差益の減少により、経常利益は21,067百万円（同6.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,148百万円（同5.0%減）となりました。

化粧品事業においては、ハイプレステージの主力ブランド、「コスメデコルテ」が日本国内では引き続き好調に推移するも、韓国や中国の免税チャネルで苦戦し、8月の福島原発処理水の海洋放出後は大きく影響を受けました。それ以外の主要ブランドでは、「アルビオン」、「ジルスチュアート」や「アディクション」などが伸長しました。欧米で展開する「タルト」は、主力商品の売上を伸ばしました。プレステージでは、「雪肌精」や「ONE BY KOSÉ」の回復基調が継続しています。これらの結果、売上高は174,468百万円（前年同期比8.5%増）となり、営業利益は15,794百万円（同2.2%増）となりました。

コスメタリー事業においては、「ヴィセ」やコーセーコスメポート㈱の「クリアターン」などが好調に推移した結果、売上高は42,881百万円（同10.4%増）、営業利益は3,924百万円（前年同期は266百万円）となりました。

その他の事業は、ホテルやゴルフ場向けアメニティ製品の販売が増加したため、売上高は1,611百万円（前年同期比23.6%増）となりましたが、営業利益はマーケティングコストの増加により、647百万円（同17.4%減）となりました。

#### 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)

	前第3四半期累計		当第3四半期累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	116,999	58.2	137,870	63.0	20,871	17.8
アジア	53,169	26.5	40,813	18.6	△12,355	△23.2
北米	27,096	13.5	35,280	16.1	8,184	30.2
その他	3,622	1.8	4,997	2.3	1,374	37.9
売上高計	200,887	100.0	218,961	100.0	18,074	9.0

#### <日本>

日本は、専門店・百貨店チャネルにおけるハイプレステージが好調に推移し、ドラッグストアなどのマス市場においても、主要なスキンケアブランドおよび、メイクアップブランドが伸長しました。その結果、売上高は137,870百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

#### <アジア>

中国では、Eコマースで減収となったものの、百貨店を中心とするオフラインでは、コロナ禍から回復傾向にあります。一方トラベルリテール事業では、代購規制や8月の福島原発処理水の海洋放出の影響を受け、減収となりました。韓国のトラベルリテール事業は、流通側の仕入れ抑制により、大幅な減収となりました。これらの結果、売上高は40,813百万円（同23.2%減）となりました。

#### <北米・その他>

北米では、タルトでコンシーラーなどの主要カテゴリーが伸長しました。また店舗数の拡大に加え、円安の影響により、売上高は35,280百万円（同30.2%増）となりました。その他（欧州など）では、タルトが売上を牽引し、売上高は4,997百万円（同37.9%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月13日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	116,535	127,886
受取手形及び売掛金	52,451	42,945
商品及び製品	37,165	43,678
仕掛品	2,853	3,306
原材料及び貯蔵品	29,058	28,633
その他	7,080	8,024
貸倒引当金	△664	△143
流動資産合計	244,481	254,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,458	52,644
減価償却累計額	△26,042	△27,583
建物及び構築物(純額)	26,415	25,061
機械装置及び運搬具	22,161	22,531
減価償却累計額	△17,226	△18,183
機械装置及び運搬具(純額)	4,934	4,347
工具、器具及び備品	45,920	47,036
減価償却累計額	△39,666	△41,147
工具、器具及び備品(純額)	6,254	5,889
土地	17,363	17,335
リース資産	10,431	12,899
減価償却累計額	△2,299	△3,085
リース資産(純額)	8,132	9,813
建設仮勘定	824	371
有形固定資産合計	63,923	62,820
無形固定資産		
ソフトウェア	4,619	4,987
のれん	4,356	4,092
その他	5,474	5,667
無形固定資産合計	14,450	14,746
投資その他の資産		
投資有価証券	17,979	16,671
退職給付に係る資産	10,296	10,555
繰延税金資産	4,524	4,881
その他	4,560	4,816
貸倒引当金	△616	△652
投資その他の資産合計	36,745	36,271
固定資産合計	115,119	113,839
資産合計	359,600	368,170

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,913	8,862
電子記録債務	18,383	20,317
短期借入金	1,361	500
リース債務	828	1,087
未払金	15,872	9,781
未払費用	10,919	11,846
未払法人税等	3,287	3,724
未払消費税等	1,476	1,715
返金負債	5,533	5,890
その他	2,004	2,158
流動負債合計	67,580	65,885
固定負債		
リース債務	7,793	9,349
繰延税金負債	4,416	3,206
その他	4,462	5,221
固定負債合計	16,671	17,777
負債合計	84,251	83,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	62	123
利益剰余金	240,147	245,307
自己株式	△9,082	△9,073
株主資本合計	235,975	241,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,766	5,373
為替換算調整勘定	10,770	16,408
退職給付に係る調整累計額	5,480	4,963
その他の包括利益累計額合計	23,017	26,744
非支配株主持分	16,356	16,556
純資産合計	275,349	284,507
負債純資産合計	359,600	368,170



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	200,887	218,961
売上原価	59,876	63,788
売上総利益	141,011	155,173
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	16,128	18,534
販売促進費	30,203	32,615
運賃及び荷造費	12,249	13,883
給料及び手当	36,282	37,880
退職給付費用	236	159
法定福利費	5,791	6,061
減価償却費	3,691	3,790
その他	23,946	26,218
販売費及び一般管理費合計	128,529	139,144
営業利益	12,481	16,029
営業外収益		
受取利息	291	881
受取配当金	181	180
還付消費税等	466	98
為替差益	8,469	3,318
雑収入	933	744
営業外収益合計	10,341	5,223
営業外費用		
支払利息	13	9
貸倒引当金繰入額	77	79
投資事業組合運用損	106	—
雑損失	75	95
営業外費用合計	272	185
経常利益	22,549	21,067
特別利益		
固定資産売却益	124	18
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	124	22
特別損失		
固定資産処分損	167	134
減損損失	121	40
投資有価証券評価損	25	—
関係会社株式評価損	20	3
事業整理損	—	332
割増退職金	164	—
特別損失合計	498	511
税金等調整前四半期純利益	22,175	20,579
法人税、住民税及び事業税	7,181	7,517
法人税等調整額	639	△686
法人税等合計	7,821	6,830
四半期純利益	14,354	13,748
非支配株主に帰属する四半期純利益	513	600
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,841	13,148

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	14,354	13,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,359	△1,381
為替換算調整勘定	9,919	5,689
退職給付に係る調整額	△453	△540
その他の包括利益合計	10,825	3,766
四半期包括利益	25,180	17,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,587	16,875
非支配株主に係る四半期包括利益	592	640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	160,749	38,833	199,582	1,304	200,887	—	200,887
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	514	514	△514	—
計	160,749	38,833	199,582	1,819	201,401	△514	200,887
セグメント利益	15,450	266	15,716	784	16,500	△4,019	12,481

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△165
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,853

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
116,999	53,169	27,096	3,622	200,887

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	174,468	42,881	217,350	1,611	218,961	—	218,961
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	383	383	△383	—
計	174,468	42,881	217,350	1,995	219,345	△383	218,961
セグメント利益	15,794	3,924	19,718	647	20,366	△4,337	16,029

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△41
各報告セグメントに配分していない全社費用	△4,295

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
137,870	40,813	35,280	4,997	218,961

## (収益認識関係)

## 収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象としていることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりであります。

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日) (単位:百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	78,039	51,995	27,096	3,617	160,749
コスメタリー事業	37,655	1,172	—	5	38,833
報告セグメント計	115,695	53,167	27,096	3,622	199,582
その他(注)	1,147	1	—	—	1,148
顧客との契約から生じる収益	116,843	53,169	27,096	3,622	200,731
その他の収益	155	—	—	—	155
外部顧客への売上高	116,999	53,169	27,096	3,622	200,887

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) (単位:百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	94,254	39,944	35,280	4,987	174,468
コスメタリー事業	42,006	866	—	9	42,881
報告セグメント計	136,260	40,811	35,280	4,997	217,350
その他(注)	1,453	2	—	—	1,456
顧客との契約から生じる収益	137,714	40,813	35,280	4,997	218,806
その他の収益	155	—	—	—	155
外部顧客への売上高	137,870	40,813	35,280	4,997	218,961

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。